



2024年9月20日

ミニストップ株式会社

(コード番号9946 東証プライム)

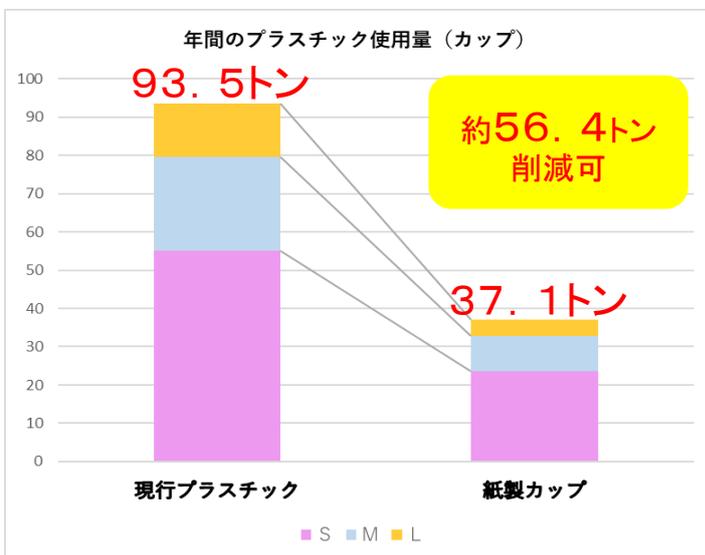
各位

# 年間で合計約63トンのプラスチック削減へ！ アイスコーヒー 紙製カップへ変更 9月20日(金)より順次切替

ミニストップは、2024年9月20日(金)より、店内淹れたてのアイスコーヒーで使用しているプラスチック製アイス用カップを、紙製カップに順次変更していきます。紙製カップへの変更により、年間でプラスチック使用量を約56.4トン、約60%削減可能※1となります。

さらにフタは、ストローを使わずに飲める「飲むフタ」に変更することにより、最大で約6.8トンのプラスチック削減が見込めます。

ミニストップは今後も、環境目標達成に向け、さらなるプラスチック削減への取り組みを継続・実現してまいります。



※1 アイスコーヒーの販売数は、2023年8月～2024年7月を基準にしています。同様の販売数の場合のプラスチック削減量を算出しています。

## 【ストローなしで飲むフタ】

プラスチックできていますが、飲み口がついていることで、プラスチックストローの使用を削減でき、年間で最大約6.8トンのプラスチック削減が見込めます。※2

※2 アイスコーヒーの販売数は、2023年8月～2024年7月を基準にしています。



アイスカフェラテ、アイスプレミアムコーヒーは引き続きプラスチック製カップで提供します。

## 【参考①】 ミニストップの環境目標

CO2削減	食品ロス削減	プラスチック削減
2030年までに店舗で排出するCO2(店舗の使用電力)を50%削減(2013年度比)	2025年までに①食品ロスを50%削減(2015年度比)②リサイクル実施店舗の拡大	2030年までに①使い捨てプラスチック利用量を半減(2018年度比)②すべての使い捨てプラスチックを環境配慮型素材に変更

画像はイメージです。



2024年9月20日  
ミニストップ株式会社

(コード番号9946 東証プライム)

【参考②】 現在進行中の取り組みについて



【竹材の割りばし】  
木製の「つまようじ」をなくしました。



<食べるスプーン ※画像はイメージです。>

【食べるスプーン】  
プラスチックのスプーンではなく、コーンでできた「食べるスプーン」をお付けします。  
※小麦・大豆アレルギーをお持ちのお客さまには今まで同様、プラスチックスプーンをお付けします。



【ちばSDGsパートナーの登録】 ※3

千葉県に本社を置くミニストップは、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて「ちばSDGsパートナー制度」に登録いたしました。

これまでの取り組みはもちろん、今後も千葉県と連携を図りながら取り組みを推進してまいります。

※3 千葉県内企業等におけるSDGs推進の機運を醸成するとともに、具体的な取組を後押しするため、「ちばSDGsパートナー登録制度」が千葉県で創設されました。(2021年11月25日)